

# KiKiの広場

2023年 1月 1日

cafe NO.147  
KiKi



## あけましておめでとうございます！

「ヒストリア宇部」がオープンして、2度目の「兎年」です。当時、まだ4カ月目で迎えた「KiKiの広場」には、下関の「子どもの広場」によく行くという、ご家族のお話を載せています。ご両親と図書係をしているという小学校5年生のお兄ちゃんと1歳の赤ちゃん。今その男の子は成人して、赤ちゃんは中学生になっているでしょう。そう考えると12年という年月は、とても大きくて深いと思わざるを得ません。

2023年の兎年の意味は、「大きく飛躍・向上」だそうです。たくさんの方たちの想いや願いが込められて、「旧山銀」から生まれ変わった「ヒストリア宇部」。12年という歳月の重みをもう一度かみしめながら、少しでもより高くジャンプできるように、みんなで頑張りたいと思います。みなさま今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月の予定

休館日	10日(火)
定休日	毎土・日・月曜日
年末年始休み	28日(水)～3日(火)
臨時休業日	5日(木)



「気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ」

「黒蜜きなこのシフォンケーキ」 300円

きなこの優しい味に、相性抜群の黒蜜をとろ〜り。ほっこりした気分になれる「和」のシフォンケーキです。  
お正月にぴったり！！年の初めにどうぞ！

今月のお気に入り・・・「年の初めに読みたい絵本」



～「十二支のおやこえほん」「はつゆめちょうじゃ」「おしょうがつかみさま」「しめかざり」「おしょうがつさん」 などなど ～



「十二支のおやこえほん」は、高島純さんが描くちょっととぼけた感じの十二支のおやこのお話です。

クスッと笑えるほのぼのしたおやこのやり取りが、あたたかい気持ちにさせてくれます。

昔ばなしの「はつゆめちょうじゃ」、文はこわたまみさん、絵は村上豊さんです。村上さん

のユーモアと温かみのある絵が、不思議なお話にぴったり。まさしくお正月に読みたい絵本です。



今月の本棚・・・「今年の干支 うさぎが出てくる絵本」



～「うさぎのくにへ」「うさぎのみみはなぜながい」「くいしんぼううさぎ」「うさぎをつくらう」「ピロードのうさぎ」 などなど ～



「うさぎのくにへ」は、美しい絵と文章が特徴のジビュレ・フォン・オルファース作です。34歳という若さで亡くなり残された絵本は8冊ですが、ドイツではとても愛されている古典絵本作家です。「むくむくちゃん」と「ぷくぷくちゃん」とは、出てくる双子の赤ちゃんの名前です。それだけで、ぎゅーっと心をつかまれてしまいました。お話も絵もとびっきり可愛らしい絵本です。メキシコの昔ばなし、

「うさぎのみみはなぜながい」は、メキシコで絵を描き続けた北川民次さん作です。骨太のお話とスケールの大きい絵が迫力満点、昔話の面白さを存分に味わえます。最後は、「そうきたかー！」となります。



ほっとフレイク

ヒストリアのアイドル！！その10 冬休み編・・・幼稚園が冬休みに入ったので、お母さんと一緒にカフェのお手伝いに来てくれたKちゃん。幼稚園生活にも慣れ、すっかりお姉さんらしくなりました。でも、Kさんが幼稚園に迎えに行くと毎回先生から報告があるそうで・・・先日はペンで自分の顔に落書き、鼻に書いたと思えば次の日は口に。



翌日その話を聞くのが、私たちにとっては楽しくて、「今度は何をやらかしてくれるのかな？」と期待してしまいます。(ごめんね、Kさん)今日は年末の大掃除をお母さんと一緒にしてくれました。イベントホールの拭き掃除をしたり、時にはお勉強？したりお母さんとの時間を楽しんでいました。Kさんの初出勤は1月4日です。もちろん、まだ冬休み中のKちゃんも一緒です。Kちゃん、今年もどうぞよろしくね。👏

